

今日の説教のポイント <ルカによる福音書 24 章 13～35 節>

①私たちの理解を超えたイエス様の復活。でも、分かるようになる！

弟子たちは、復活の主と一緒に道を歩いて下さっているのにそれに気づかず、「**私たちは、あの方こそイスラエルを解放して下さると望みをかけていました。**」(21 節) と、当のイエス様本人に向かって語りました。しかし、彼らもその後で、よみがえられたイエス様が自分たちと共に居て下さったことにはっきり気づいたのです。読みながら思いました、「これは私のことではないか！ 道行きは人生。主は共に歩いて下さっている。私が気づかなかっただけ。しかし、分かる時が与えられた」と。面白いのは、気付いた途端、イエス様の姿が見えなくなったこと、「**すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。**」(31 節)。なぜ見えなくなったのか？ もう見えなくても、いつも共にイエス様が居て下さることが分かったから！ もちろん、弟子たちも私たちも、そのことが深く分かるのは色々なことがあってから。あの「足跡」という詩が語っているように(別紙参照)。

②聖書、それはイエス様を見出すために神様が与えて下さった場所！ここにイエス様を探さないで他のどこに探すというのか？！

弟子たちがイエス様だと分かったのは、神様の摩訶不思議な力によるものではありません。イエス様は弟子たちに、道を行きながら、聖書を用いてご自分が復活することを熱心に説明されたとあります(27 節)。そして弟子たちも言っています、「**道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、私たちの心は燃えていたではないか**」(32 節) と。真の神様を見つけないなら、辺り構わず自分の探したい所で探すのではなく、「ここで私を示そう」と神様が言って下さった場所で探さなければなりません。聖書がその場所なのです！ なぜ神様がイエス様を与えられ、十字架にかけられ、復活させられたのか？ その理由が聖書に記されています。神様が私たちのためになして下さったことを知ったなら、必ず「**心が燃える**」はずです。私たちの「**心の目を開いて**」(45 節) 下さり、どんな人をも愛し、赦し、新たな生を与えて下さる神様を覚えて生きられるようになるからです！ 復活の主を思いながら生きられるようになるからです！